

# 令和6年度事業計画

公益財団法人兵庫丹波の森協会

# 令和6年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

## 【公益財団法人兵庫丹波の森協会（公益目的事業）】

### 1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを実現するために

- 1) 魅力ある地域づくり
- 2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくり
- 3) 生物多様性を育む地域とのふれあい事業などを推進する

### 2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

### 3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切にする心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

## 令和6年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針（案）

兵庫丹波の森協会は、昭和63年に設立（平成24年公益財団法人へ移行）され、「丹波の森宣言」（昭和63年9月）に基づく「丹波の森構想」（平成元年3月）のもと、丹波地域を「丹波の森」と位置づけ、緑豊かな自然環境と伝統文化など地域の特性や資源を生かしながら、人と自然と文化、産業の調和した地域づくりを目標に、住民、事業者、行政が一体となって、「丹波の森づくり」を推進してきました。

また、県立4施設（丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園）の指定管理者として、丹波の森づくりの理念に基づいて、施設運営に取り組んでいます。

しかしながら、丹波の森構想策定から36年を経過する中で、丹波の森構想そのものが行政からも地域住民の中でも語られることが少なくなったのではないかと考えられます。

このような中、令和5年度に、理事会、丹波の森を考える小委員会及び縣市連絡会において協議を重ね、「丹波の森創造計画」並びに「兵庫丹波の森協会アクションプラン」を策定しました。

丹波の森創造計画は、「森を大切に育てる」「花と緑の美しい地域づくりを進める」「個性豊かな地域文化を育てる」「安らぎと活力に満ちた地域づくりを進める」という4つの宣言を、あらためて住民、事業者、行政が一体となって進めるよう、宣言ごとに、18の項目、そして103の取組を整理しました。

丹波の森構想の理念の大切さを、この「丹波の森創造計画」を通じて、丹波地域の皆さんへお知らせするとともに、この理念の実現に向け、県と市、協会が一体となって取り組みます。

また、「兵庫丹波の森協会アクションプラン」は、今後3年間の重要な取り組みとして、特に「丹波の森宣言・丹波の森構想」に対する丹波地域の皆さんへの理念浸透に向け、体制強化など6つの取組を整理しました。

令和6年度においては、「丹波の森宣言」「丹波の森構想」を実現していくための「丹波の森創造計画」並びに「兵庫丹波の森協会アクションプラン」を取組の基本とし、丹波地域の自然環境を守り育てることを基本において、「人と自然と文化」の調和した丹波の森づくりを推進します。

# 1 令和6年度重点的な取組

## 1) 理念の浸透

「丹波の森宣言」「丹波の森構想」の理念を丹波地域の皆さんに今一度浸透させていくため、下記の事業に取り組みます。

項 目	内 容
①職員全員による情報発信	①ロゴやキャッチコピーの活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・協会（施設含む）が発行するすべての印刷物に丹波の森構想を創造できるキャッチコピー掲載</li> <li>・4月～5月の間に協会で決定。</li> </ul> ②職員研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・協会職員誰もが「丹波の森宣言」「丹波の森構想」を理解し、推進するための研修会の開催</li> <li>・令和6年度上半期に開催（2回）</li> <li>・丹波の森大学への参加</li> </ul> ③インスタなどSNSを活用した情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員自らが、協会（施設含む）の取組とともに、丹波の森づくりの情報を発信するための研修の開催</li> <li>・4月～6月に開催（専門業者及び職員による研修）</li> </ul>
②新聞による情報発信	毎月1回丹波新聞に「丹波の森宣言」や「丹波の森構想」に関するコラムを掲載 <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹波の森研究員（契約研究含む）等が写真を添えて執筆</li> <li>・令和6年4月から毎月1回</li> </ul>
③図書館に丹波の森コーナー設置	2市図書館に「兵庫丹波の森協会コーナー」を設置し、協会が発行している冊子や資料、昔話などを配架 <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月から順次配架</li> </ul>
④PR展示	丹波の森公苑やゆめタウン（丹波市）・市民センター（丹波篠山市）で、「丹波の森宣言」や「森構想」、「丹波の森創造計画」などの情報を紹介展示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・むかしばなし（挿入挿絵）と合わせて展示</li> <li>・ウィーン写真展と合わせて展示</li> <li>※展示期間中にむかしばなしの読み聞かせや研究員による丹波の森宣言や丹波の構想の解説</li> <li>・30周年記念の映像活用</li> </ul>
⑤小冊子、協会誌づくり等	丹波の森宣言や今回作成した「丹波の森創造計画」など、丹波地域の皆さんにわかりやすい冊子等を作製し広報 <ul style="list-style-type: none"> <li>①小冊子               <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹波の森創造計画をわかりやすく紹介する小冊子</li> <li>・令和7年度に向け、子どもたちに配布できる小冊子づくりを教育委員会と協議</li> </ul> </li> <li>②兵庫丹波の森協会誌               <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹波の森構想などを知らせるとともに、4施設の取り組みやイベント情報などを合わせた協会誌の発行（9月発行）</li> </ul> </li> </ul>
⑥4施設の取組	協会が指定管理者である4施設においても、イベントや講座などの中で、積極的に理念浸透に取り組む

## 2) 県市との連携

「丹波の森宣言」「丹波の森構想」の理念の浸透に向けては、県市と協会が一体となって取り組む必要があります。

### ①取組を共有する場

- ・県市や協会が、目的や取組方向を共有する必要があります。
- ・県市政策担当部課との定期的な情報共有と協議の場を設定します。  
年4回（4月、7月、11月、1月）
- ・県市担当部課と具体的な取組について協議する。令和6年度は、「地域の機能維持、活性化」を重点テーマとし、丹波の森研究所とともに、地域（集落）支援について協議実践します。

### ②丹波の宣言や丹波の構想を学ぶ場

- ・もっとも地域とかかわりの深い県市職員に対し、あらためて「丹波の森宣言」「丹波の森構想」、そして令和5年度に策定した「丹波の森創造計画」を理解いただく研修の場を設けます  
年1回程度の開催（小冊子の作成と合わせ実施）
- ・丹波の森大学を職員研修の場として活用する。参加だけでなく、ゼミでは、丹波地域の皆さんと議論するリーダーとして位置づけ、地域の皆さんとともに「丹波の森づくり」を学ぶ機会とします。

## 3) もりびと（人材）の育成

- ・協会（職員）として  
協会の設置目的である「丹波の森づくり・丹波の森構想」の推進を職員自ら改めて意識し、協会活動に取り組めます。
- ・県民局、丹波篠山市、丹波市と連携して  
常に県民局、2市と情報を共有し、理念浸透を同じ視点でとらえ、「丹波の森づくり、丹波の森構想」や今回策定した「丹波の森創造計画」に基づき、理念浸透や具現化に取り組めます。
- ・地域住民等に対して  
丹波の森大学など、協会で実施する取り組みにおいては、人材育成を主眼に置き取り組めます。

## 4) 体制の強化と充実

協会事務局及び4施設が、「丹波の森宣言」「丹波の森構想」を具現化し、充実した取り組みを進めるためには、体制の強化や充実が重要です。

この中で、丹波の森公苑は、非公募であることから、県から現職5名や県OB職員7名が派遣され、施設運営の中核として業務しています。

公募後は、この派遣がなくなることから、指定管理者の応募に向けては、協会として人員の確保が必要となります。

令和6年度においては、協会アクションプランで「体制強化と充実」を計画していますが、他の施設とともに、安定かつ充実した人材の確保に向け取り組めます。

## 5) 指定管理者制度への対応

協会は、4つの県立施設の指定管理者として管理運営しています。

施設名	指定管理期間	適用
丹波の森公苑	R3～R6	R6年度1年、さらに1年延長要望中
丹波年輪の里	R6～R10	公募で新たに選定
ささやまの森公園	R6～R8	非公募で新たに選定
丹波並木道中央公園	R3～R7	R7年度公募

### ①丹波の森公苑（非公募施設）

非公募での指定管理期間は、令和5年度で終期を迎えるが、1年間非公募での指定管理期間が延長されます。現在、令和7年度までの延長を県に要望しています。

現在は、非公募で指定管理者として協会が指定されていますが、県下の類似施設は、令和5年度までに公募により選定され、いずれも結果民間事業者が指定管理者となっています。

本公苑も、令和6年又は令和7年には、非公募から公募方式による指定管理者の選定となる見込みです。県が実施するサウンディング調査では、多くの民間事業者が、本公苑の運営に興味を持ち、今後公募された場合に応募してくることが予測されます。

本公苑は、丹波の森構想の拠点施設として整備され、丹波の森構想を推進・具現化していく重要な施設です。

協会としては、公募に向け、丹波の森構想を基軸とした取り組みを今以上に充実させ、公募された場合でも、指定管理者として選定されるよう、しっかりと準備を進める必要があります。

令和6年度は、今後公募されることを視野に置き、魅力ある施設管理・運営や適正な施設維持に取り組むとともに、体制の在り方を検討します。

### ②丹波年輪の里（公募施設）

令和5年度に公募が実施され、令和6年度から5年間の指定管理者に指定されました。

### ③ささやまの森公園（非公募施設）

令和5年度に非公募により選定され、令和6年度から3年間の指定管理者に指定されました。今回は、非公募により選定されましたが、将来的には公募の可能もあり、さらに充実した取組を進めます。

### ④丹波並木道中央公園（公募施設）

本公園は、指定管理期間の4年目となります。令和7年度には、次期指定管理者の公募が実施されます。令和6年度後半から、応募に向けた準備に取り掛かります。

## 2 各部門・施設の主要な取り組み

令和6年度の協会事務局及び4施設の主な取り組みは下記のとおりです。

### 1) 協会事務局及び丹波の森研究所

項目	内容
理念浸透	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員全員による情報発信</li> <li>○丹波新聞へコラム掲載（丹波の森研究所）</li> <li>○図書館に丹波の森コーナー設置</li> <li>○PR展示</li> <li>○小冊子、協会誌づくり等</li> <li>○4施設での取組</li> </ul>
丹波の森大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第34期のテーマ：・テーマ「森の遺伝子」</li> <li>○ともに考える「丹波の森大学」 誰もが知識を得る講座方式とともに、講師とともに考える「ゼミ」方式の講座に取組</li> <li>○理解し知識を学ぶ「丹波の森大学」 講座方式 年5回 講座方式+ゼミ方式 1講座+2ゼミ×3回</li> <li>○両市との連携 講座への県市職員の参加、ゼミ方式は、職員の学びと場として活用</li> <li>○他事業との連携 OB大学や県民局事業との連携</li> <li>○実施時期：6月～令和7年1月（予定）</li> </ul>
丹波の森研究所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域支援「集落維持と活性化」 ・少子高齢化が進む集落の機能維持と、同時に移住定住を含めた地域の活性化に向けたテーマに市とともに取組む</li> <li>・研究所が企画立案し、現状の調査と分析、地域に入る職員の育成</li> <li>・市は、活性化チームをつくり、地域とともに考える仕組みをつくる。</li> <li>○高校生を対象とした森の保全再生プロジェクト（ささ森と共同実施） ・鳥類の生息状況や生息環境の整備、管理のあり方3講座程</li> <li>・篠山市東雲高校生を中心に市内の高校生や一般など対象に</li> <li>○森を見守る若手育成プロジェクト</li> </ul>
体験イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○丹波の森KIDSプログラム ・自然を楽しみ、興味関心を育み、自然を大切にすることを育てる。</li> <li>・内容：年4回（予定） 共催：兵庫県立人と自然の博物館 春「お花ぶかぶか」、夏「ミクロのせかいをのぞいてみたよ」、秋「どんぐりころころ」、冬「移動博物館 ゆめはく」</li> <li>○昆虫リーダー養成 ・昆虫に触れ合うことを通じ、森（自然）を大切に守り育てる意識を深める</li> </ul>

## 2) 丹波の森公苑

項 目	内 容
里山整備計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植生、地形・土壌条件、動植物などを調査</li> <li>・ゾーン区分と整備内容を検討</li> <li>・担い手育成、体験の場づくり、森林資源活用などの方策を検討</li> </ul>
丹波縄文の森塾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間：5月～令和7年3月</li> <li>・募集定員：小学3年～6年生30人</li> </ul>
国蝶オオムラサキの舞う里山づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験飼育展示</li> <li>・小学校等、地域での飼育指導（18小学校、2高校、8事業所等）</li> <li>・第15回放蝶会：6月30日（日）</li> <li>・国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテストの実施</li> </ul>
講座「丹波学」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ：「明智光秀とその時代～光秀の足跡と丹波の城郭」</li> <li>・開催期間：8月～12月（全5回）</li> <li>・講 師：城郭懇話会会員 福島克彦氏ほか</li> </ul>
丹波の森子どもミュージカル体験塾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日 程：7月下旬～10月中旬（全15回）</li> <li>・対 象 者：小・中・高校生</li> <li>【発表公演】10月20日（日）2回公演（予定）</li> </ul>
丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間：9/8～11/17（予定）30周年</li> <li>・オープニング・サロンコンサート 畑儀文氏、アレキサンダー・シェヴチェンコ氏 ほか</li> <li>・ガラ・コンサート 畑儀文氏、ティルマン・クレーマー氏、関西フィルハーモニー管弦楽団他</li> <li>・街角コンサート 丹波地域2市10会場</li> <li>・ふるさと音楽ひろば（丹波地域の小学校10校）</li> <li>・キン・コン・カン・コンサート（丹波地域内の中・高・特別支援学校4校）</li> <li>・吹奏楽部のための出前講座（丹波地域内で2回）</li> <li>・音楽系部活動サポートプロジェクト（丹波篠山市立中学校2校）</li> </ul>
生活創造活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活創造活動を実施する団体等の活動支援</li> <li>・生活創造活動登録グループが一堂に会して交流するイベントを開催</li> </ul>



### 3) 丹波年輪の里

項 目	内 容
木工クラフト指導 及び特別工作教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木工クラフトの創造・創作活動の拠点。木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝え、「暮らしの中に木を取り入れる」。</li> <li>・初心者から本格派まで、基礎講座からカレースプーン、木のおもちゃ、焼きペン、漆塗り、刃研ぎ等バラエティに富んだ木工教室の開催</li> </ul>
木育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む「木育」の普及促進。</li> <li>・木製玩具の貸出しやワークショップ等。認定こども当を訪問し、遊びを通して木の良さや香り、手触りなど体感できる木育活動。約20か所</li> </ul>
作品展等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第10回ウッドワーカーズクラフト <ul style="list-style-type: none"> <li>・木工作家の作品の展示即売会を実施</li> </ul> </li> <li>○座っ展 2024 ～丹波で座る木の椅子～ <ul style="list-style-type: none"> <li>・「坐る・触る」ことにより、作品のすばらしさをアピール</li> </ul> </li> <li>○第36回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展） <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ：「木を素材としたおもちゃを、遊び心を大切にしながら、自分の手で創造する喜びを味わう」</li> <li>・木工クラフト普及を目的に全国公募展を開催</li> </ul> </li> <li>○第8回たんば絵てがみコンクール <ul style="list-style-type: none"> <li>・「絵手紙」を文化的な創作活動として支援</li> </ul> </li> <li>○第33回アート・クラフトフェスティバル in たんば 2024 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国各地で活動するクラフトマンの作品展示</li> </ul> </li> </ul>
各種イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ティラノサウルスレース in 丹波竜の里（地元高校生の運営参画）</li> <li>ロハス・パーク丹波 グルメフェス@丹波、SPLASH!! 丹波!!など（地域団体等との連携）丹波年輪の里杯サッカー大会・丹波市モルック大会</li> <li>・ゴールデンウィークフェスタ 2024</li> <li>・緑の中のコンサート</li> <li>年2回の開催</li> </ul>

#### 4) ささやまの森公園

項目	内容
高校生を対象とした森の保全再生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容：鳥類の生息状況や生息環境の整備、管理のあり方3講座程度</li> <li>・対象者：東雲高校他の生徒</li> <li>・実施時期：6月～10月（丹波の森研究所と共同実施）</li> <li>・連携：兵庫県森林動物研究センター、兵庫県立人と自然の博物館と協働</li> </ul>
基本プログラム	<p>重点事業 活動スタッフ（ボランティア）が企画立案、当日のプログラムを運営。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○里山体験班 <ul style="list-style-type: none"> <li>・草木染め、鹿の角アクセサリー作り、布雑巾・しめ縄づくり等</li> </ul> </li> <li>○里山伝承班 <ul style="list-style-type: none"> <li>・おから料理、梅味噌、黒豆栽培、そば道場、黒豆みそ、ピザづくり</li> </ul> </li> <li>○自然学習班 <ul style="list-style-type: none"> <li>・野草観察会、バードウォッチング、ホタルやモリアオガエル等の観察</li> </ul> </li> <li>○レクレーション班 <ul style="list-style-type: none"> <li>・稲作体験、源流探検、深山登山、とんど、餅つき、ツリーイングなど</li> </ul> </li> <li>○里山復元班 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カッティングボード、ログチェア、ミニ門松、竹スピーカー、チェンソー安全教室など</li> </ul> </li> </ul>
森の学校(第17期生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の中で様々な体験、たくましく生きる力を育てる</li> <li>・対象：小学3年生から6年生 開催回数：年10回</li> </ul>
各種イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山まつり（春秋の2回開催） 内容：里山体験プログラム、里山コンサート、ビンゴゲーム 等 開催予定日：4月14日、11月10日</li> <li>・ささもりステージ</li> </ul>

#### 5) 丹波並木道中央公園

項目	内容
昆虫観察会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の自然と生物にふれあう機会を作り、自然とふれあう。</li> <li>・兵庫県立人と自然の博物館と連携し、研究員講師による昆虫観察会を実施。</li> </ul>
サイクルステーション活用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丹波地域をサイクリングを楽しむエリアとして魅力を楽しんでもらう。</li> <li>・地元関連団体と連携した自転車安全教室を実施など</li> </ul>
各種イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○なみきみちわくわくフェスティバル 「Go! Go! 里山の日」の会場の一つとして開催</li> <li>○なみきみちまつり（収穫祭） ・当公園のある味間地区と大山地区のまちづくり協議会と連携秋の収穫時 ・秋の収穫時期に大規模な食イベントを開催</li> </ul>
大人の木工教室、なみきみちクラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園内の適正な間伐と間伐材の活用で温かみに触れる“木育”</li> <li>・間伐材遊具の作成、間伐材を利用しての大人の木工教室など</li> </ul>

### 3 財政運営

財政上の課題として、県補助金である地域振興事業補助金の大幅な減額や、金利の低下により基本財産にかかる運用益も低減する中、協会の収入確保は厳しい状況にあります。

令和6年度においては、「丹波の森宣言」「丹波の森構想」そして「丹波の森創造計画」にかかる理念浸透にかかる取組に対して、丹波の森づくり基金を活用します。

また、協会事務局が取り組むアクションプランに基づき、事業や予算の精査を行いつつ、財源の在り方について県市と協議します。

# 令和6年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業計画書

## I 公益目的事業会計

### 公1 森林文化（地域づくり）の創造

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 魅力ある地域づくりの推進	ア 丹波の森大学の開設 (協会事務局)	「丹波の森づくり＝丹波の地域づくり」を実践するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「もり（森・守・盛）びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を交えた講座を開催する。	<b>重点</b> ○第34期のテーマ ・テーマ「森の遺伝子」 ・ともに考える「丹波の森大学」 誰もが知識を得る講座方式とともに、講師とともに考える「ゼミ」方式の講座に取組（「丹波の森づくり＝丹波の森づくり」に関わるプレーヤーを育成） ・理解し知識を学ぶ「丹波の森大学」 講座方式 年5回 講座方式+ゼミ方式 1講座+2ゼミ×3回 ・両市との連携 講座への県市職員の参加 ゼミ方式は、職員の学びと場として活用 ・他事業との連携 OB大学や県民局事業との連携 ・実施時期：6月～令和7年1月（予定） ・場所：丹波の森公園、丹波篠山市民センター	【予算額】 1,360,000  【前年度予算額】 1,516,000
	イ ウィーンの森友好親善交流事業 (協会事務局)	ウィーン市は、市中央部を「ドナウ川」が流れ、市西部はウィーンの森として知られる森林地帯が広がり、ユネスコの世界遺産に登録された「ウィーン歴史地区」や国立歌劇場や博物館など、豊かな森、自然景観、文化や歴史が市民の生活の中に深く溶け込んでいます。 まさにこれは、丹波の森宣言、丹波の森構想で目指す「丹波の森」のモデルであり、今後市民を中心とした交流がさらに深めることにより、より魅力的な「丹波の森」づくりが進展させる。	○新たな都市間友好親善提携に向けて ・都市間友好親善提携の実現に向け、引き続き実現に向けた調整を行う。 ・ウィーン市13区在住ラクナー氏を通じ、メールやZoom会議での意見交換 ・ウィーン在住カール・ハインドル氏の写真展開催 ○オオムラサキへの支援及び情報交換 国蝶オオムラサキをウィーン・シェーンブルン動物園で飼育・繁殖する支援事業を「兵庫丹波オオムラサキの会」の協力を得て、継続して実施する。今年度は、幼虫の提供方法の再検討とオオムラサキが成長するまでの飼育環境について助言と関連する調査研究 ○交流花壇設置支援事業 丹波の森・ウィーンの森提携20周年記念事業・友好親善提携訪問団メンバーにより設置した「シューベルト花壇」は、来苑者に当協会とウィーン市13区との交流を周知するものであることから、維持管理に係る資材等の支援を行う。	【予算額】 236,000  【前年度予算額】 206,000
	ウ 丹波の森研究所 (協会事務局)	丹波の森構想に基づく「人・自然・文化・産業の調和した地域づくり」（丹波の森づくり）を推進するために、地域づくり等に関する調査研究・提言とともに、市・県との連携を図り、地域課題解決のため、地域とともに考える地域伴走型支援を行う。	<b>新規</b> ○地域支援「集落維持と活性化」 ・少子高齢化がする集落の機能維持と、同時に移住定住を含めた活性化するテーマに市とともに取組む ・研究所が企画立案し、現状の調査と分析、地域に入る職員の育成 ・市は、活性化チームをつくり、地域とともに考える仕組みをつくる。 <b>新規</b> ○高校生を対象とした森の保全再生プロジェクト（ささやまの森公園と共同実施） ○行政職員や実践者などを対象とした、森を見守る若手育成プロジェクト ○市・県との連携 丹波篠山市、丹波市、丹波県民局と連携を深め、様々な情報を共有するとともに、今後の研究テーマを検討する。 ○民間支援組織との連携 民間の中間支援組織との情報共有を図り、それぞれと連携し、効率的・効果的な丹波の森づくり事業の推進を行うことを目標として開催する。 ○丹波の森大学への支援 丹波の森研究所の取り組み調査研究課題と連携した内容で、年間のテーマ設定、講師選定、現地学習地の選出などの支援	【予算額】 3,761,000  【前年度予算額】 4,406,000
	エ 地域づくり支援事業 ・地域づくり支援事業 (協会事務局)	地域づくりや地域固有の課題に対し、地域や市、県、中間支援組織等と連携しながら住民とともに考え、課題解決に向けた取り組みを支援する。	○地域づくりアドバイザーの派遣 ・地域づくりや地域の活性化などの取組みを行っている地域や自治会等の団体の要請を受け、研究員を含むアドバイザーを派遣する。また、地域の取り組みや活動へのコーディネート業務などを行う。 (3箇所、年3回程度/箇所) ○地域づくりの情報収集	【予算額】 536,000  【前年度予算額】 1,036,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	・花と緑の地域づくり事業 (協会事務局)	美しい地域づくりの実現に向けて、丹波地域の住民の花と緑に関する意識の向上及び花と緑の地域づくり活動をいっそう推進するため、丹波の森公苑などの主要スポットに地域住民の手により制作したミニガーデンを展示し、地域を花や緑で飾る事業を実施する。	○ミニガーデン(コンテナガーデン)の製作・展示 丹波の森公苑・丹波年輪の里・丹波並木道中央公園でミニガーデンを展示し、花づくり愛好家との交流を促進し、地域での花づくりを推進する。 ・開催期間 10月12日(土)～11月4日(月) ・規模 6～7庭程度	【予算額】 495,000 【前年度予算額】 420,000
	・丹波の里山づくり発信事業 (協会事務局)	丹波地域では、昭和63年に「丹波の森宣言」を採択し、地域全体を一つの森として捉え、自然と人と文化が調和した地域づくりを進めてきた。「美しい里山」を次の世代へと繋いでいくための取り組みを県民局、丹波篠山市、丹波市及び(公財)兵庫丹波の森協会が協働して推進する。	○丹波の里山づくり発信事業 ・モデルとなる里山を地域住民が自ら30年かけて整備し、その活かし方、楽しみ方を広く情報発信する。 ・モデルとなる里山活動10団体にアドバイザーを派遣し、活動を継続、イベント企画、行政担当部局との連携など、30年の森づくり活動を支援する。 ・アドバイザー会議の開催 会議において、支援要望団体等の活動状況や要望・課題を共有し、具体的支援方法を協議し、里山づくりアドバイザーの派遣調整や外部人材の派遣を行う。	予算額 1,100,000 【前年度予算額】 2,750,000 (丹波の里山づくり促進事業実行委員会受託)
オ	花づくり活動支援事業 (丹波の森公苑)	花と緑あふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する。	○花と緑の教室(基礎講座) 草花等の育成知識習得、寄せ植え実習 募集定員:60人 受講料:18,000円 講師:県立アカセタ職員 実施期間:5～3月(年6回) 場所:丹波の森公苑創作工房 ○花と緑の教室(自主活動グループ) 花と緑の教室を受講し、知識・技術を習得した者をリーダーに、地域単位で教室を開催 グループ数:5グループ・21人予定 受講料:15,600円 講師:花と緑の教室を受講した者 実施期間:5～3月(年6回) ○園芸教室(応用創作講座) 創作寄せ植えを中心とした知識習得、実習 募集定員:30人 受講料:7,000円(材料費等別) 講師:ひょうごガーデンマイスター認定 田丸和美氏 実施期間:5～3月(年7回) 場所:丹波の森公苑創作工房	【予算額】 1,749,000 【前年度予算額】 1,596,000
カ	丹波の森フェスティバルの開催 (丹波の森公苑)	地域住民、各種団体による様々な活動の成果発表や団体交流の機会を提供し、生活創造活動の一層の活性化を図る。	○丹波の森フェスティバル ・開催日:10月27日(日)予定 ・内容:ワークショップ、作品展示、ステージ発表、里山ハイキング等	【予算額】 756,000 【前年度予算額】 756,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
キ	丹波年輪の里事業 (丹波年輪の里)	木とのふれあいの中で、木工クラフトを中心に、県民のスポーツ、レクリエーションの活動をさらに促進するため、課題や現状を踏まえ、各種の事業を見直しつつ、実施する。	<p><b>重点</b></p> <p>○木工クラフトの指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝え、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとする。</li> <li>・内容 少人数単位のお出かけニーズに合ったもの作り体験の参加につながる仕掛けづくり。団体利用やフィールドパビリオンを意識した充実したキットメニューの展開</li> <li>・時期 通年</li> <li>・場所 クラフト館</li> </ul> <p>○ゴールデンウィークフェスタ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 木とのふれあいの中で、様々なワークショップを実施しレクリエーション活動を促進する。併せて年輪の里を利用するサークル活動の発表の場を提供する。</li> <li>・内容 端材や積み木を使ったワークショップ、竹とんぼづくり、ツリーイング体験、飲食ブース出店、モルック体験会、ふわふわ遊具、クラフト作品展、水彩画展、バードカービング展(木の館、アトリエ棟)、座つ展2024</li> <li>・時期 4月27日(土)～5月5日(日)</li> <li>・場所 苑内各施設</li> </ul> <p>○第10回ウッドワーカーズクラフト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 木工クラフトの振興、支援。丹波地域を中心に創作活動を行う木工作家の作品の展示即売会を実施する。</li> <li>・内容 丹波地域を中心とした木工作家約40名が丹精込めて創作した木作品を展示、即売。各作家の逸品オークションも実施</li> <li>・時期 4月27日(土)～28日(日)</li> <li>・場所 芝生広場</li> </ul> <p>○木に関する情報を提供する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 木材や木製品との触れ合いを通じて木材への関心や木の文化への理解を深め、木材の良さや利用の意義を伝えると共に木材利用の情報発信をする。</li> <li>・内容 木材利用を促進するための展示・販売 木木市…丹波市内の製材所や木工所と協力しDIY向けの木材・端材を廉価で販売 木の何でも市…木木市等の端材を受託販売</li> <li>・時期 木木市 年2回 5月、11月第3土曜日(予定) 木の何でも市 通年</li> <li>・場所 木の館、クラフト館前広場</li> </ul> <p><b>重点</b></p> <p>○木育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む「木育」の普及促進</li> <li>・内容 木製玩具の貸出しやワークショップ等。認定こども園等を訪問し、遊びを通して木の良さや香り、手触りなど体感できる木育活動。約20か所を予定</li> <li>・時期 通年</li> <li>・場所 丹波地域、阪神間</li> </ul> <p>○平日グラウンドゴルフ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 1. 5ヘクタールに及ぶ芝生広場を活用して、グラウンドゴルフ愛好者を対象に、相互の交流と利用を促進、健康づくりのため開催する</li> <li>・内容 芝生広場に2コース設定 16ホール</li> <li>・時期 通年(年間営業日約140日(夏期、冬期、春期休業日、土日祝日、休館日、年末年始除く))</li> <li>・場所 芝生広場</li> </ul> <p>○第8回 心を届ける たんば絵てがみコンクール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 物より心の豊かさ、高齢化社会などに適合した手紙としての「絵手紙」の愛好者が増加している。この「絵手紙」を文化的な創作活動として支援するため、公募展を実施する。</li> </ul>	<p>【予算額】 3,160,000</p> <p>【前年度予算額】 2,949,000</p>

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容 身近なものや風景を描いた絵と心温まるメッセージを入れた郵便はがき等を公募する。一般の部、高校生以下の部 入賞作品各約17点(金賞・銀賞・銅賞・たんば賞・審査員特別賞・オーディエンス賞)、入選作品各40点</li> <li>・時期 募集期間 9月～12月 展示期間 2月 展示期間 2月上旬～2月中旬</li> <li>・場所 展示 木の館ほか、丹波の森公苑、ゆめタウン、丹波おばあちゃんの里、神戸市、三田市でも巡回展</li> </ul>	
	<p>ク 丹波並木道中央公園事業 (並木道中央公園)</p>	<p>「県立丹波並木道中央公園」は、公園の資源である自然環境、生物多様性、里山、棚田、丹波の特産物などを活用して、来園者が憩いや安らぎを感じる事業やイベントを、地域や各種団体と連携強化を図りながら取り組む。</p> <p>また、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムのコア施設として整備された「動く恐竜模型」「恐竜遊具」と、サイクルを生かした地域活性化の拠点として整備された「サイクルステーション」という新たな魅力が加わったことにより、多様な世代が楽しめる公園運営に努める。</p>	<p>地域の専門家と共に「丹波の森」30年後の将来像づくりを先駆的に取り組むことを目指し、「丹波の森」管理モデルとなる森林管理、「森づかい」のための公園づくり、間伐材利用方策「木づかい」等の実践を行う。特に利用促進事業では、県立都市公園の推進する下記の施策テーマごとに各種事業に取り組む。</p> <p><b>○活力あふれる地域づくりに資する公園</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なみきみち恐竜化石パーク(発掘体験)</li> <li>・なみきみちまつりの企画実施(10月)</li> <li>・かやぶき民家と棚田を活用した「丹波の食をまるごと楽しむ」(赤米・黒豆の栽培、日本茶づくりなど)</li> <li>・地域文化の保全継承(丹波の昔話)</li> </ul> <p><b>○子育てに資する公園</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なみきみちミニパークの設置(間伐材を使った遊具の更新、作成)</li> <li>・親子昆虫観察会(移動昆虫館)9月</li> <li>・0000!里山の日協働イベント5月</li> <li>・大型複合遊具(恐竜遊具)</li> </ul> <p><b>○環境との共生に資する公園</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なみきみちクラブ(年6回)</li> <li>・大人の木工教室(年9回)</li> <li>・花と緑を活かしたイベントの実施</li> <li>・なみきみちstyle木工キットの企画開発</li> </ul> <p><b>○安全安心な地域づくりに資する公園</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザイン・パークの企画実践</li> </ul> <p><b>○持続可能なパークマネジメントの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの公園プロジェクト9月、3月</li> <li>・ユニバーサルデザイン・アドバイザーの設置</li> <li>・なみきみちクラブの運営</li> <li>・公園広報誌「PARK LIFE」での情報発信</li> </ul> <p><b>○その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森の実験遊び場の設置</li> <li>・フォトジェニック・スポットの設置</li> <li>・おもいっきり!なみきみちキャンプ     デイ年2回 お泊り年2回</li> <li>・間伐材を使った自由工作室「森の工房」</li> </ul>	<p><b>【予算額】</b> 3,591,000</p> <p><b>【前年度予算額】</b> 3,591,000</p>

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(2) 生物多様性を育む地域づくりの推進	ア 丹波地域生物多様性保全事業 (協会事務局)	平成30年度に実施した丹波地域生き物実態調査の結果を踏まえ、同地域における生物多様性の現状や保全の重要性について、地域住民の理解を促進するとともに、地域団体の活動を支援することにより、同地域の生物多様性の保全を図り、丹波の森づくりをさらに推進する。	<p><b>○生物多様性保全に向けた情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>丹波地域の生物多様性の現状や保全の重要性の情報を発信</li> <li>地域住民全体に生物多様性の保全に係る意識を広げていく。</li> <li>生物多様性に係る教材を提供するなど生物多様性に係る活動調査を支援</li> </ul> <p><b>○丹波の森公苑の自然環境調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>丹波の森公苑の昆虫相(子どもたちによる)の調査も兼ね、子どもたちが自然を学び体験する場づくり</li> <li>取組: 昆虫大捜査線 in 丹波の森公苑 ～ひととはくの昆虫博士と一緒に～</li> <li>開催日: 5月3日(金・祝)</li> <li>場所: 丹波の森公苑</li> <li>定員: 各100名(3才以上の子どもの数)</li> <li>対象: 小学生以下(保護者同伴)</li> </ul> <p><b>新規</b></p> <p><b>○丹波の森 KIDS プログラム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然物や生きものに目を向け、自然を楽しみ、興味関心を育み、自然を大切にすることを育てる。</li> <li>開催時期: 4月～12月</li> <li>開催場所: 丹波の森公苑 芝生広場ほか</li> <li>内容: 年4回(予定)</li> <li>春「お花ぶかぶか」、夏「ミクロのせかいをのぞいてみたよ」、秋「どんぐりころころ」、冬「移動博物館 ゆめはく」</li> <li>共催: 兵庫県立人と自然の博物館</li> </ul>	<p>【予算額】 139,000</p> <p>【前年度予算額】 343,000</p>
	イ 丹波の森公苑里山事業 (丹波の森公苑)	<p>丹波の森公苑の里山を活動の場とし、里山の自然や生き物とのふれあいを通じて、森づくりに参画する人材の育成を図る。</p> <p>また、緑豊かな森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するとともに、丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代に繋げていくため、オオムラサキの飼育展示や地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。</p>	<p><b>○里山ボランティア(森づくりスタッフ)養成事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森づくり講座の開設</li> <li>里山の保全・管理活動に興味を持っている人や技術修得をめざす人を対象に、丹波の森公苑里山を拠点とした研修と里山整備に関する相談を実施。</li> </ul> <p><b>【講座】</b> (間伐材活用編)</p> <p>日程: 4月～10月、5回開催 募集定員: 6人 参加費: 3,000円 場 所: 丹波の森公苑</p> <p>(間伐編)</p> <p>日程: 10月～2月、6回開催 募集定員: 6人 参加費: 2,000円 場 所: 丹波の森公苑</p> <p><b>【相談】</b> 日程: 随時</p> <p><b>○里山及び環境学習体験フィールドの整備</b></p> <p>森づくり講座受講生等を中心とした自主活動グループ「里山倶楽部(H15創設、会員数20人)」及び「里山整備サポーター(H30創設、会員数23人)」に活動の場を提供することにより、苑内里山の間伐、遊歩道整備、草刈り、生き物飼育場の整備を行う。</p> <p><b>○森づくり活動アドバイザーの設置</b></p> <p>緑豊かな丹波の森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するため、森づくり活動アドバイザー(2人)を配置。教育機関等からの要請により、森づくりアドバイザーを派遣し、森づくりや環境学習の相談・指導・支援を行う。</p> <p><b>重点</b></p> <p><b>○国蝶オオムラサキの舞う里山づくり</b></p> <p>オオムラサキの飼育展示を行うとともに、兵庫丹波オオムラサキの会と連携し、地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体験飼育展示</li> <li>小学校等、地域での飼育指導(18小学校、2高校、8事業所等)</li> <li>第15回放蝶会: 6月30日(日)</li> <li>国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテストの実施</li> </ul>	<p>【予算額】 648,000</p> <p>【前年度予算額】 648,000</p>
		丹波の森公苑の里山整備を計画的に実施し、豊かな風景や景観の形成、生物多様性の保全を図る。また、里山整備を通じて、担い手の育成、里山環境の学びと里山整備を体験する場の提供、伐採樹木等の森林資源の活用を推進する。	<p><b>重点</b></p> <p><b>○里山整備計画の策定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植生、地形・土壌条件、動植物などを調査</li> <li>ゾーン区分と整備内容を検討</li> <li>担い手育成、体験の場づくり、森林資源活用などの方策を検討</li> </ul>	



項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	ウ 丹波の森公園環境学習推進事業 (丹波の森公園)	里山の自然や生き物について体験的に学ばせるため、自らが日々の暮らしや生活行動を見直す機会をつくる環境学習を行う。	<p>○子ども対象プログラム</p> <p><b>重点</b></p> <p>○丹波縄文の森塾の開催 開催期間：5月～令和7年3月 募集定員：小学3年～6年生30人 参加費：7,000円 内 容：里山探索、生きもの観察、縄文土器づくり、稲刈りなど</p> <p>○リーダー養成プログラム 丹波縄文の森塾の運営に携わる「自然体験活動サポーター」を配置。高校・大学生、社会人が毎月の塾活動を支援しながら、自然体験活動のノウハウを培っている。</p> <p>○環境学習支援プログラム</p> <p>①親子・家族対象プログラム ・春の里山ふれあいハイキング 実施日：4月下旬 募集定員：30人 ・丹波いきもの大集合 実施日：7月中旬 会 場：丹波ゆめタウン 対象：家族連れ等 ・秋の里山ふれあいハイキング 開催日：10月下旬 募集定員：30人 ※丹波の森フェスティバルにおいて実施</p> <p>②幼児・小学生対象プログラム ・里山の秋の実り体験 実施日：9月～11月 参加者：小学生、認定こども園園児 ・出前講座の実施 ・国蝶オオムラサキ越冬幼虫探し 日時：3月上旬 募集定員：50人</p>	<p>【予算額】 1,164,000</p> <p>【前年度予算額】 1,301,000</p>
	(協会事務局) (丹波の森研究所)	丹波 2050 地域ビジョンにおけるシンボルプロジェクトである「たんばユース躍動プロジェクト」を受けて、丹波の森の再生(グリーンリカバリー)と故河合雅雄先生の理念を継承するとともに、次世代を担う中高生たちとの生物多様性の推進や人材育成を目指して、「縄文の森ユース躍動プロジェクト」事業を実施する。	<p>○縄文の森ユース躍動プロジェクト 前年度の結果を受けて、事前に両市や高校などとの連携・調整して、対象やテーマを絞り込んで実施</p> <p><b>新規</b></p> <p>①高校生を対象とした森の保全再生プロジェクト(ささやまの森公園と共同実施) ・実施場所：ささやまの森公園 ・実施内容：鳥類の生息状況や生息環境の整備、管理のあり方など3講座程度 ・対象者：県立篠山東雲高校生、県立篠山鳳鳴高校生、近隣高校生、一般他 ・実施時期：5月～9月 ・連携：兵庫県森林動物研究センター、兵庫県立人と自然の博物館と協働</p> <p>②行政職員や実践者などを対象とした、森を見守る若手育成プロジェクト ・実施場所：丹波の森公園 ・実施内容：森の植物や動物の生態、食や生活環境としての森の恵みなど4講座程度 ・対象者：丹波県民局、両市の行政職員、NPOでの実践者 ・実施時期：6月～10月 ※上記のプロジェクトの実施に関しては、兵庫県森林動物研究センター、兵庫県立人と自然の博物館と協働する予定</p>	<p>【予算額】 2,030,000</p> <p>【前年度予算額】 2,061,000</p>

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	エ ささやまの森公園事業 (ささやまの森公園)	人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働により、(ア)基本プログラム(里山体験・里山伝承・自然学習・レクリエーション・里山復元)の実施を柱に、(イ)特別プログラム(里山まつり・特別企画等)や、(ウ)団体プログラム(園内散策・ウッドクラフト等)などを実施することにより、里山の保全と創造を進め、交流の場、ふれあいの場を提供する。	<p><b>重点</b></p> <p>○基本プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山体験班：草木染め、布スリッパ作り、しめ縄作り等 開催回数：延べ 25回</li> <li>・里山伝承班：黒豆栽培、そば道場、ちまき作り等 開催回数：延べ 20回</li> <li>・自然学習班：バードウォッチング、野草観察、ヒメボタルの観察等 開催回数：延べ 13回</li> <li>・レクリエーション班：深山登山、源流探検、木登り体験等 開催回数：延べ 22回</li> <li>・里山復元班：炭焼き体験、シタケ作り、ベンチ作り等 開催回数：延べ 10回</li> </ul> <p>○特別プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山まつり(春秋の2回開催) 内 容：里山体験プログラム、里山コンサート、ビンゴゲーム 等 開催予定日：4月14日(日)、11月10日(日)</li> <li>・里山の日特別企画 内 容：バードウォッチング、深山登山、野草観察 等 開催予定日：5月5日(日)前後</li> <li>・その他プログラム 里山コンサート、里山講演会 等</li> </ul> <p><b>重点</b></p> <p>○森の学校(第17期生)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内 容：里山体験活動、キャンプ 等 開催予定日：5月から3月まで年間10回 対 象 者：小学3年生から6年生15名を予定</li> </ul> <p>○団体プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体利用：草木染め、ウッドクラフト等</li> <li>・県立篠山東雲高等学校「里山文化」授業支援</li> </ul> <p>○希少動植物保護に向けた環境保全の取組</p> <p><b>新規</b></p> <p>○高校生を対象とした森の保全再生プロジェクト(丹波の森研究所と共同実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所：ささやまの森公園</li> <li>・実施内容：鳥類の生息状況や生息環境の整備、管理のあり方など3講座程度</li> <li>・対象者：県立篠山東雲高校生、県立篠山鳳鳴高校生、近隣高校生 一般他</li> <li>・実施時期：5月～9月</li> <li>・連携：兵庫県森林動物研究センター、兵庫県立人と自然の博物館と協働 ※公園職員も積極的に参加</li> </ul> <p>○里山環境を守り育てる人材バンク活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容：環境保護協力員の登録及び活動推進 野鳥観察の会、野草研究会 他</li> </ul> <p>○環境保護スタッフ・ボランティア研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容：環境保護活動に向けた研修会開催</li> </ul> <p>○福住地域との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福住伝統的建造物保存地区及び域内人気店舗との連携強化</li> <li>・まち協等地域活動への参画</li> </ul> <p>○ささもりステージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容：丹波の森公苑主催ショーベルティアーゼ誘致 開催 他</li> </ul> <p>○次代協カスタッフの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容：主に「森の学校」修了生や篠山東雲高校卒業生を対象に若手ボランティアスタッフの発掘と育成</li> </ul>	【予算額】 5,886,000  【前年度予算額】 6,066,000
(3) 公1共通経費	ア 施設運営・管理	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理に支出する。	【予算額】 160,319,000 (局) 4,418,000 (宛) 13,483,000 (輸) 79,702,000 (さ) 20,967,000 (並) 41,774,000  【前年度予算額】 167,930,000

公2 生活創造活動への支援

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 地域・団体活動の支援	ア 生活創造活動支援事業 (消費生活を含む) (丹波の森公苑)	丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集・発信し、団体・グループ活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動コーナーの提供</li> <li>・情報発信のための印刷機械や情報ボックスの提供</li> <li>・生活創造活動グループサポート事業による丹波の森公苑内でのイベント等への支援 (年12件)</li> <li>・グループが一堂に会するイベントを開催</li> </ul>	【予算額】 240,000  【前年度予算額】 170,000
		消費者被害防止のための普及啓発を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活出前講座の実施 (年20回程度)</li> <li>・消費生活にゆーすの発行 (年4回)</li> <li>・丹波新聞への「消費者クイズ」提供、チラシによる啓発</li> </ul>	
	イ 生活創造活動施設貸し館業務 (丹波の森公苑)	県民の生活創造活動のために施設を貸与する。	会議室、多目的ルーム、ホール、練習室等について、統一的な基準により貸与する。	
ウ スポーツ大会・文化教室の開催 (丹波年輪の里)	地域のスポーツ・文化活動を促進するため、グラウンドゴルフ大会の開催や丹波地域の団体のイベントを支援する。また、工作室を利用する木工特別教室、アトリエを利用するサークル教室などを開催する。	<p><b>重点</b></p> <p>○特別工作教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝え、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとする。</li> <li>・内容 初心者から本格派まで、基礎講座からカレー Spoon、木のおもちゃ、焼きペン、漆塗り、刃研ぎ等バラエティに富んだ木工教室の開催</li> <li>・時期 通年</li> <li>・場所 クラフト館</li> </ul> <p><b>重点</b></p> <p>○ティラノサウルスレース in 丹波竜の里</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 恐竜化石の宝庫をアピールするとともに、併せて丹波三宝に代表される魅力満載の秋の丹波を発信する。</li> <li>・内容 広大な芝生広場をティラノサウルスの着ぐるみを着用した短距離走、恐竜化石展示や化石</li> <li>・時期 10月19日(土) 延期の場合11月9日(土)</li> <li>・場所 芝生広場他苑内各施設</li> </ul> <p>○イベント支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 年輪の里を丹波地域で活躍する団体等の活動の場を提供、地域づくりの人材育成にも繋げる。</li> <li>・内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>① ロハス・パーク丹波 グルメフェス@丹波</li> <li>② SPLASH!! 丹波!!</li> <li>① 高校生が創る丹波の未来への架け橋プロジェクト、丹波市内3校の高校生がプロデュースするイベント(内容未定)</li> <li>② 丹波市モルック大会 丹波市モルック協会等と連携</li> </ul> </li> <li>・時期 ①6月1日(土)～2日(日) ②8月上旬 ③④未定</li> <li>・場所 芝生広場他苑内各施設</li> </ul> <p>○ギャラリーアトリエ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 CSR施設として、アトリエ棟をした木工をはじめとする文化的なサークル活動の支援する。</li> <li>・内容 水彩画展、ノードカービング等のサークルのアトリエでの活動を支援</li> <li>・時期 通年</li> <li>・場所 アトリエA・B</li> </ul> <p>○グラウンドゴルフ大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容 1. 5ヘクタールに及ぶ芝生広場を活用して、グラウンドゴルフ愛好者を対象に、相互の交流と利用を促進、健康づくりのため開催する</li> <li>3コース 24ホール 定員192人</li> <li>・時期 年4回(6月、9月、12月、3月)</li> <li>・場所 芝生広場</li> </ul> <p>○緑の中のコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 四季折々の自然あふれる素晴らしい環境の中で、音楽を通じて来苑者に癒しや安らぎの時間を楽しんでもらう演奏会を実施する。</li> <li>併せて丹波地域を中心に音楽活動している</li> </ul>	【予算額】 2,230,000  【前年度予算額】 2,574,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
			高校生や音楽家の発表の場を提供することで、地域担う人材育成に繋げる ・内容 主に丹波地域を中心として活動している個人、団体等に出演を依頼、特に中高生のクラブ活動等の披露の場を提供 ・時期 年2回(秋、クリスマス) ・場所 木の館あるいはクラフト広場 <b>新規</b> <b>○丹波年輪の里杯サッカー大会の開催</b> ・目的 次代を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を高めると同時に、サッカーを通して健康でたくましい子どもたちを育てる少年サッカー大会を開催する。 ・内容 丹波地域の少年チームを中心としてトーナメント方式で実施 1日間で終了できるチーム数 ・時期 未定(検討中) ・場所 イベント広場	
(2) 生涯学習の場の提供	ア 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座(丹波OB大学)の開設(丹波の森公苑)	生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、長寿社会を担う地域活動の実践者を養成することにより、高齢者の生きがいづくりや社会参加の推進に寄与する。	<b>○丹波OB大学</b> ・学習年限：4年 ・受講者数：159人(1年定員60人、2年34人、3年39人、4年26人) ※募集定員：60人 ・講座内容：教養講座、特別講座、専門講座(健康福祉、地域文化、生活創造)等 ・開催時期：4月～3月までの18回 ・受講料：12,500円	<b>【予算額】</b> 2,012,000 <b>【前年度予算額】</b> 2,487,000
	イ 講座「丹波学」の開設(丹波の森公苑)	多彩な地域資源を有する丹波地域の魅力の再発見を通じて、地域の特色を活かした地域づくりに結びつく学習の機会を提供する。	<b>重点</b> ・テーマ：「明智光秀とその時代～光秀の足跡と丹波の城郭」 ・開催期間：8月～12月(全5回) ・募集定員：150人 ・講師：城郭懇話会会員 福島 克彦氏ほか ・受講料：6,000円	<b>【予算額】</b> 900,000 <b>【前年度予算額】</b> 900,000
	ウ 丹波地域学が高齢者のつどいの開催(丹波の森公苑)	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、芸能発表や創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい交流を深め生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	<b>○丹波地域学が高齢者のつどい</b> ・開催日：9月26日(木)～27日(金) ・会場：丹波の森公苑 ・内容：丹波篠山市高齢者大学、丹波市高齢者学級、丹波OB大学の受講生による作品展及び芸能発表	<b>【予算額】</b> 180,000 <b>【前年度予算額】</b> 180,000
(3) 明日を担う丹波っ子の育成	ア トライやる・ウイーク等受入(丹波の森公苑)(丹波年輪の里)(ささやまの森公園)(並木道中央公園)	中・高生が働くことの大切さや厳しさを学ぶため、職場体験の場を提供する。	中・高校生にとって、ふさわしい体験プログラムの実施。 ・トライやる・ウイーク(中学生) 期間：未定 ・インターンシップ(高校生) 期間：未定	<b>【予算額】</b> 10,000 <b>【前年度予算額】</b> 10,000
	イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催(丹波の森公苑)	将来の芸術文化を担う子どもたちの豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、舞台芸術による表現や創造する楽しさを体験する機会を提供することにより舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図る。	<b>重点</b> <b>○レッスン</b> ・日程：7月下旬～10月中旬(全15回) ・対象者：小・中・高校生 ・募集定員：40人程度 ・指導：劇団ウエスト ・参加費：6,000円 <b>○発表公演</b> ・日時：10月20日(日)2回公演(予定) ・会場：丹波の森公苑ホール ・演目：未定 ・入場料：大人1,000円、高校生以下無料	<b>【予算額】</b> 1,615,000 <b>【前年度予算額】</b> 1,615,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	ウ 丹波(丹波篠山市・丹波市)のむかしばなし語りベクラブの活動支援 (協会事務局)	子どもの健やかな成長とこころ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波(丹波篠山市・丹波市)のむかしばなし」(全10集)を活用し、家庭や地域に広める活動を推進するため、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成や研修会を開催する。	○語りベクラブの支援 語りベクラブ(丹波篠山市1団体、丹波市2団体)が、年間延べ140回にわたり丹波のむかしばなしを語り継ぐ活動を保育所、小学校、その他施設等で行っている。その活動を支援するとともに「むかしばなし」をホームページ等で全国に向けてPRする。 ○語りベ講習会の開催 ・開催日:7月21日(日) ・開催場所:丹波の森公苑セミナー室 ・講師:野村朋未氏(アナウンサー) ○丹波のむかしばなし増刷 ・第1集、第5集、第7集 各300冊	【予算額】 1,732,000 【前年度予算額】 131,000
(4) 公2共通経費	ア 施設運営・管理	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理に支出する。	【予算額】 79,405,000 【前年度予算額】 157,809,000

公3. 芸術文化の振興

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供	ア 丹波の森国際音楽祭 シューベルティアーデたんばの開催  【丹波の森国際音楽祭 シューベルティアーデたんば実行委員会】	国内外からアーティストを招へいし、地域交流・国際交流の輪を広げるコンサートを丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば実行委員会が開催し、その事務局を(公財)兵庫丹波の森協会が担う。 ・オリジナル企画でシューベルトの音楽を楽しみ交流を深める「オープニング・サロンコンサート」「ガラ・コンサート」を開催 ・丹波地域の住民等が企画・運営する街角コンサートの実施 ・丹波地域の小・中・高・特別支援学校へ出向いて行う「ふるさと音楽ひろば」、「キン・コン・カン・コンサート」の開催 ・音楽関係部活動のための出前講座の実施等	<b>重点</b> ○テーマ:「30年ありがとう!優しい音楽ありがとう! Ich danke dir, Franz Schubert. ~丹波はシューベルトの第2のふるさと」 開催期間:9月8日(日)~11月17日(日)(予定) ○オープニング・サロンコンサート ・開催日:9月8日(日) ・場所:お菓子の里丹波ミオール館(丹波篠山市) ・入場料:2,500円(当日3,000円) ・出演:畑儀文氏、アレキサンダー・シェヴチェンコ氏 ほか ○ガラ・コンサート ・開催日:11月17日(日) ・場所:丹波の森公苑ホール ・入場料:大人2,500円(当日3,000円、高校生以下:無料未定) ・出演:畑儀文氏、ティルマン・クレーマー氏、関西フィルハーモニー管弦楽団、関西フィルハーモニー合唱団 ほか ○街角コンサート ・会場:丹波地域2市10会場 ○ふるさと音楽ひろば(丹波地域の小学校10校) ○キン・コン・カン・コンサート(丹波地域内の中・高・特別支援学校4校) ○吹奏楽部のための出前講座(丹波地域内で2回) ○音楽系部活動サポートプロジェクト(丹波篠山市立中学校2校)	【予算額】 1,200,000 (局)400,000 (宛)800,000  【前年度予算額】 1,200,000
	イ 丹波の森公苑ホール等自主事業(丹波の森公苑)	地域文化の高揚と芸術の香り高い暮らしを創造するため、県民に優れた芸術を鑑賞する機会を提供する。	○スーパーキッズ・オーケストラ「クリスマスコンサート」の開催 ・日程:12月21日(土)(予定) ・場所:丹波の森公苑ホール ・内容:スーパーキッズ・オーケストラ公演 ・入場料:大人1,500円、高校生以下無料	【予算額】 1,200,000  【前年度予算額】 1,200,000
(2) 芸術文化活動の振興	ア アートクラフトフェスティバル in たんば2024の開催(丹波年輪の里)	丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマンが一堂に集い、芝生広場など園内での自由な作品展示、来園者との交流を行う。	○第33回アートクラフトフェスティバル in たんば2024 ・目的 丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマンが一堂に集い、芝生広場など園内での自由な作品展示、来場者との交流を図る。 ・内容 全国の木工や陶磁器、布、皮など様々なジャンルのクラフトマンの作品を苑路や芝生広場に展示、即売する。 ・時期 11月2日(土)~3日(日) ・場所 苑内各施設	【予算額】 400,000  【前年度予算額】 400,000
	イ 丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展)の開催(丹波年輪の里)	「人に優しい木を素材とし、遊び心を大切にしながら、自分の手で創造の喜びを作り出す」をテーマに、木工クラフト普及を目的に全国公募展を開催する。	<b>重点</b> ○第36回丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ大賞展) ・目的 人に優しい木を素材としたおもちゃを、遊び心を大切にしながら、自分の手で創造する喜びを味わう」ことをテーマとして、木工クラフト普及を目的に全国公募展を開催 ・内容 部門 一般の部:「親子で遊べる木のおもちゃ作品部門」、ジュニアの部 賞・副賞 グランプリ(文部科学大臣賞 賞金50万円) 準グランプリ(知事賞 賞金10万円) 優秀賞(丹波市長賞)他 ・時期 募集期間 一般の部 7月上旬~8月中旬 ジュニアの部 8月上旬~9月中旬 展示期間 一般の部 9月上旬~9月下旬 ジュニアの部 10月中旬~下旬 表彰式 10月下旬	【予算額】 900,000  【前年度予算額】 900,000
	ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催(丹波の森公苑)	広く美術家、美術愛好家に創作活動の発表の場を提供するとともに、県民や県内芸術家との交流を図る。	○新春書き初め展 ・日程:①1月22日(水)~26日(日) ②2月6日(木)~10日(月)(予定) ・場所:①丹波の森公苑、②丹波篠山市立四季の森生涯学習センター ○文化賞受賞者小品展 ・日程:11月10日(日)~13日(水) ・場所:丹波の森公苑	【予算額】 120,000  【前年度予算額】 120,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	エ 展示ギャラリーの開設 (丹波の森公苑)	創作あるいは地域づくり活動に励む人々に展示や発表機会を設け、世代や分野を超えた交流を深めるとともに、創作活動のサポートを行う。	○書、絵画、写真等の作品展示 ・利用件数：年間25回以上	【予算額】 30,000 前年度予算額 30,000
	オ 伝統文化活性化支援事業 (丹波の森公苑)	地域の伝統文化を保存・継承を図るため、民族芸能団体等に発表の機会を提供するとともに、子どもたちが伝統文化に親しみ、理解を深めることができるよう小学校において和楽器を体験・鑑賞できる機会を提供する。	○民俗芸能発表・鑑賞機会の提供 ・日 程：5月26日(日) ・内 容：第13回丹波の森童謡唱歌の祭典の「民俗芸能特別鑑賞部門」に青垣三番叟が出演 ・場 所：丹波の森公苑ホール ○子どもたちのための和楽器鑑賞会 (丹波文化団体協議会による出前授業) ・日 程：9月～1月の間(予定) ・場 所：丹波管内の小学校 10校	【予算額】 200,000 前年度予算額 200,000
	カ 座っ展-丹波で座る木の椅子- (丹波年輪の里)	丹波地域に木工クラフト文化の定着を図るとともに、丹波地域を中心に創造活動する木工作家の技術の向上を目指し、「椅子」の展示会を開催する。 「坐る・触る」ことにより、作品のすばらしさをアピールする。	○座っ展2024 ～丹波で座る木の椅子～ ・目的 丹波地域を中心に創造活動する木工作家の技術の向上を目指し、「椅子」の展示会を開催する。「坐る・触る」ことにより、作品のすばらしさをアピール ・内容 木工作家約14名、椅子約30脚を一堂に展示 ・時期 4月27日(土)～5月5日(日) ・場所 木の館	【予算額】 120,000 前年度予算額 120,000
(3) 公3共通経費	ア 施設運営・管理	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理に支出する。	【予算額】 36,222,000 前年度予算額 35,342,000

公共 丹波地域情報の発信等

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 丹波地域情報の発信等	ア 情報発信等 (協会事務局) (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森園) (並木道中央公園)	みんなで参画と協働の地域づくりを進めるため、丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を全国に発信する。 また、SNSは社会的な構築をインターネット上ですることができ、今まで知り得なかった人や地域がつながり、若者世代にも伝わりやすくなる。SNSを活用し、ネットワークを広げ、ユーザーが「共感」する情報をより多くの人に発信していく。	○年報(年1回発行) ・IP等に掲載 ○協会ニュース2024 ・協会の取り組みとともに、丹波の森づくりの理念を伝える広報誌の発行 ・市と連携し、市広報紙を活用した丹波地域住民への周知を検討する。 ○ホームページによる情報発信 ・随時更新 ○フェイスブック、インスタグラム、Xによる情報発信 ・随時更新	【予算額】 1,809,000 (局)1,069,000 (苑)740,000 前年度予算額 1,737,000
		「ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラム」を通じて、丹波地域の魅力を全国並びに世界に発信する。	○ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラムへの参画検討 ・大阪・関西万博開催に合わせて全県で展開される「ひょうごフィールドパビリオン」参画に向け検討を進める。	
	イ 運営委員会の開催 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森園) (並木道中央公園)	地域の参画による事業運営を行うため、丹波地域の住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会を設置する。	○丹波の森公苑運営委員会 ○丹波年輪の里運営協議会 ○ささやまの森公園運営協議会 ○丹波並木道中央公園 森の円卓会議	【予算額】 395,000 (苑)170,000 (輪)55,000 (さ)50,000 (並)120,000 前年度予算額 370,000

II 収益事業会計等

取1 利用者への利便提供等事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 利用者への利便提供等事業	ア 利用者への利便提供等事業 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (並木道中央公園)	1 公益目的以外の施設の貸与 県立丹波の森公苑及び県立丹波年輪の里において、公益目的以外の施設貸与を行う。 2 施設利用者への利便提供事業 (1) 管理運営施設における飲み物自動販売機の設置 (2) 管理運営施設における物品販売場所の提供 3 木の普及及び木工クラフト普及のための木工クラフトキット、加工木材等の販売	1 公益目的以外で施設を貸与している。 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 2 施設利用者への利便提供事業 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 ・丹波並木道中央公園 飲み物の自販機設置 ・丹波年輪の里 レストラン施設貸与 3 木工クラフトキット、加工木材等を販売 ・丹波年輪の里 ・丹波並木道中央公園	【予算額】 7,499,000 (苑) 1,478,000 (輪) 5,770,000 (並) 251,000  【前年度予算額】 7,305,000

他1 芸術文化団体等活動支援事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 芸術文化団体等活動支援	ア 芸術文化団体等への活動支援 (丹波の森公苑)	丹波の森公苑を拠点として、芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援する。	○丹波文化団体協議会 丹波文化団体協議会の事務局を担い、丹波地域の文化向上のための事業を実施 ・丹波文化活動交流会 ・丹波合唱祭 ・兵庫県地域文化を考えるシンポジウム ・日本の文化体験フェスティバル(仮称) ・夏休み子ども文化教室 ほか ○芸術文化団体等への活動支援 ・日本の童謡唱歌をひろめる会(丹波市) 「第13回丹波の森童謡唱歌の祭典」 ・丹波の森ふれあいステージ実行委員会「丹波の森ふれあいステージ」	【予算額】 200,000  【前年度予算額】 200,000
	イ 音楽活動団体等への支援 (協会事務局)	森づくり基金として受け入れた寄附金を活用し、丹波の森公苑ホールを利用する音楽関係団体等に対し、利用料に対する助成金を拠出し、団体等への支援を行うことで、音楽関係団体の発展等に寄与する。	音楽活動振興助成実施要綱(ウチダシェウジ基金活用事業)に基づき、丹波の森公苑ホールを利用された丹波地域で音楽活動を行っている団体に助成金を交付	【予算額】 253,000  【前年度予算額】 253,000



Ⅲ 法人会計

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 法人会計	ア 協会維持運営 (協会事務局) (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森園) (並木道中央公園)	・評議員会・理事会開催費 ・協会事務局管理部門の人件費及び維持運営費	○評議員会 ○理事会 ○監事監査 ○協会事務局管理部門の人件費及び維持管理費	【予算額】 13,867,000 (局) 14,474,000 (苑) 200,000 (輪) 212,000 (さ) 117,000 (並) 152,000
	イ 「丹波の森創造計画」・「兵庫丹波の森協会アクションプラン」の取り組み  (協会事務局)	・「丹波の森創造計画」の普及推進 ・「兵庫丹波の森協会アクションプラン」の取り組み	<b>重点</b> ○理念の浸透 丹波の森創造プランを通じ、丹波の森宣言・丹波の森構想の理念浸透を目指す。 ・職員みんなで情報発信 ・丹波新聞へコラム掲載 ・図書館に丹波の森コーナー ・PR掲示 ・小冊子づくり等 ・4施設での取り組み ○重点的な取組 ・理念の浸透 ・県市との連携 ・もりびと（人材）の育成 ・体制の強化と充実 ・指定管理者制度への対応	【前年度予算額】 13,867,000
	ウ 市・県との連携強化  (協会事務局)	丹波の森構想、丹波の森宣言、丹波の森づくりの理念を広く情報発信し、「気づき・学び→体験・理解→地域で実践する」ため、その機会を積極的に提供していくため、協会・市・県が一体的に取り組む体制を強化する。	○協会・市・県等の連携強化 ・定期的な丹波の森構想推進連絡会の開催 構成：協会・丹波篠山市・丹波市・県民局 ・丹波の森研究所など取り組むテーマによって、2市担当部門との積極的な協議の場づくり ・丹波地域で活動する中間支援組織（民間）との連携を模索する。 ○職員が学び理解する場 ・丹波の森大学などを通じ、協会・市職員に対し、丹波の森づくりを学び理解する研修を実施。 ○「気づき・学び→体験・理解→地域で実践」 ・協会が取り組む事業を丹波の森づくりを実践する人づくりにつなげていく。 ○切れ目のない取り組み ・幼児から高齢者まで切れ目のない学びや気づき、体験や理解する場づくりを意識した取り組みを進める。	

# 令和6年度収支予算書

公益財団法人兵庫丹波の森協会

## 目 次

補助事業等事業一覧表	.....	1
収支予算書	.....	3
収支予算内訳書	.....	7
(参考) 収支予算書 (資金ベース)	.....	11

## 令和6年度 補助事業等事業一覧表

(単位:千円)

科目名	事業名	相手先	業務内容	契約金額	備考
県補助金等収入 県補助金収入	地域振興事業補助金	兵庫県	本格的な成熟社会を迎え、自立した人々が自然と共生し、生き生きと暮らし、ともに生きることを実感できる地域社会を築くべく、県民一人ひとりの参画と協働による自律的な実践活動をより幅広く支援する観点から、地域住民や民間団体が行う地域ビジョンの推進及び地域固有の課題解決に資する各種活動等に対して助成を行う。	3,480	事務局
	縄文の森ユース躍動プロジェクト事業	兵庫県	丹波新地域ビジョンにおけるシンボルプロジェクトである「たんば子ども王国プロジェクト」を受けて、丹波の森の再生(グリーンリカバリー)と故河合雅雄先生の理念を継承するとともに、次世代を担う中高生たちの生物多様性の推進や人材育成を目指して、「縄文の森ユース躍動プロジェクト」事業を実施する。	2,000	事務局
	丹波の森公苑事業運営費	兵庫県	県立丹波の森公苑の事業運営業務を行う	3,683	森公苑
	県有施設等燃料高騰対策事業補助金	兵庫県	県立丹波年輪の里の光熱水費の高騰に対する補助金	200	年輪の里
	ささやまの森公園業務運営費	兵庫県	県立ささやまの森公園の事業運営業務を行う。	18,943	ささやまの森公園
市補助金等収入 市負担・分担金収入	兵庫丹波の森協会負担金	丹波篠山市 丹波市	兵庫丹波の森協会の管理運営業務を行う。	18,300	事務局
	丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催負担金	丹波篠山市 丹波市	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、芸能発表や創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、お互いに学び合い交流を深め、生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	120	森公苑
その他補助金等収入 その他負担・分担金収入	兵庫県文化賞受賞者小品展開催負担金	(公財)兵庫県 芸術文化協会	兵庫県文化賞受賞者小品展を丹波の森公苑で開催する。	30	森公苑
その他補助金等収入 その他補助金収入	子どもゆめ基金助成金	独立行政法人 国立青少年教育振興機構	子どもの体験活動の推進に向けた様々な取り組みが求められている中、子どもゆめ基金は、未来を担う夢を持った子どもの健全育成を推進するため、地域の団体等が実施する様々な体験活動や取り組み、体験活動の振興を図る取り組みの視野を広げる様な活動を中心に支援を行う。今回、助成対象となったのは、丹波縄文の森塾の子どもの体験活動(キャンプや自然観察などの自然体験活動)である。	490	事務局

(単位:千円)

科目名	事業名	相手先	業務内容	契約金額	備考
県受託収入 指定管理料収入	県立丹波の森公苑指定管理	兵庫県	県立丹波の森公苑の管理運営業務を行う。	121,194	森公苑
	県立丹波年輪の里指定管理	兵庫県	県立丹波年輪の里の管理運営業務を行う。	74,794	年輪の里
			県立丹波年輪の里アトリエ棟改修整備を行う。	4,425	
	県立ささやまの森公園指定管理	兵庫県	県立ささやまの森公園の管理運営業務を行う。	6,885	ささやまの森公園
	県立丹波並木道中央公園指定管理	兵庫県	県立丹波並木道中央公園の管理運営業務を行う。	40,188	並木道中央公園
県受託収入 その他受託収入	都市公園整備費	兵庫県	丹波並木道中央公園の維持修繕業務を行う。	1,000	並木道中央公園
市受託収入 その他受託収入	太古の生きもの館の施設管理	丹波篠山市	丹波篠山市立太古の生きもの館の施設管理業務を行う。	150	並木道中央公園
その他受託収入	丹波の里山づくり発信事業	丹波の里山づくり促進事業実行委員会	認定したモデル団体に対し、アドバイザーを派遣し、計画策定後の活動を継続的に進め、イベント企画、行政担当部局や木の駅プロジェクトとの連携など、30年間の長期活動の運営ができるよう支援を行う。	1,100	事務局
	ひょうご森づくりサポートセンター事業木育活動実施支援業務	兵庫県木材業協同組合連合会	子育て世代を対象に県民の県産材利用への関心を高めるため、木の玩具・遊具にふれる体験を県下各地の幼稚園・保育園で開催する。	1,650	年輪の里

298,632

# 収支予算書（損益ベース）

No. 1

会計区分 全体

事業区分 -

令和06年04月01日 から 令和07年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
基本財産運用益	1,350,000	1,350,000	0
基本財産受取利息	1,350,000	1,350,000	0
特定資産運用益	1,000	1,000	0
森づくり基金受取利息	1,000	1,000	0
受取会費	158,000	150,000	8,000
賛助会員受取会費	158,000	150,000	8,000
賛助会員受取会費	158,000	150,000	8,000
事業収益	30,580,000	29,637,000	943,000
指定事業収益	20,414,000	19,761,000	653,000
参加者負担金収益	7,165,000	7,209,000	△44,000
施設使用料収益	13,249,000	12,552,000	697,000
自主事業収益	8,366,000	8,076,000	290,000
参加者負担金収益	3,333,000	3,246,000	87,000
商品売上収益	3,563,000	3,302,000	261,000
手数料収益	1,470,000	1,528,000	△58,000
補助事業活動収益	1,800,000	1,800,000	0
受取補助金等	298,632,000	395,891,000	△97,259,000
受取県補助金等	28,306,000	33,295,000	△4,989,000
受取県補助金	28,306,000	33,173,000	△4,867,000
受取市補助金等	18,420,000	18,420,000	0
受取市負担・分担金	18,420,000	18,420,000	0
受取その他補助金等	520,000	953,000	△433,000
受取その他補助金	490,000	873,000	△383,000
受取その他負担・分担金	30,000	80,000	△50,000
県受託収益	248,486,000	339,300,000	△90,814,000
指定管理料収益	247,486,000	277,382,000	△29,896,000
その他受託収益	1,000,000	61,918,000	△60,918,000
市受託収益	150,000	173,000	△23,000
その他受託収益	150,000	173,000	△23,000
その他受託収益	2,750,000	3,750,000	△1,000,000
受取寄附金	381,000	396,000	△15,000
受取森づくり基金寄附金	1,000	16,000	△15,000

# 収支予算書（損益ベース）

No. 2

会計区分 全体

事業区分 -

令和06年04月01日 から 令和07年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
受取その他の寄附金	380,000	380,000	0
雑収益	1,806,000	2,618,000	△812,000
雑収益	1,806,000	2,618,000	△812,000
経常収益計	332,908,000	430,043,000	△97,135,000
(2) 経常費用			
事業費	323,612,000	375,881,000	△52,269,000
報酬	53,969,000	51,490,000	2,479,000
非常勤嘱託職員報酬	53,969,000	51,490,000	2,479,000
給料手当	75,090,000	75,534,000	△444,000
給料手当	66,542,000	67,188,000	△646,000
給料手当支出（会計年度任用職員）	8,548,000	8,346,000	202,000
給料手当支出（会計年度任用職員）	8,548,000	8,346,000	202,000
福利厚生費	26,280,000	25,501,000	779,000
法定福利費	25,682,000	24,922,000	760,000
その他福利厚生費	598,000	579,000	19,000
賃金	8,870,000	6,778,000	2,092,000
諸謝金	6,529,000	7,351,000	△822,000
講師謝金	2,999,000	2,088,000	911,000
その他謝金	3,530,000	5,263,000	△1,733,000
旅費交通費	6,205,000	5,520,000	685,000
通勤旅費交通費	3,676,000	3,308,000	368,000
役員・職員旅費交通費	836,000	684,000	152,000
講師旅費交通費	804,000	465,000	339,000
その他旅費交通費	889,000	1,063,000	△174,000
消耗品費	13,095,000	14,861,000	△1,766,000
燃料費	2,311,000	2,516,000	△205,000
会議費	262,000	232,000	30,000
印刷製本費	3,876,000	2,364,500	1,511,500
光熱水費	19,770,000	20,281,000	△511,000
修繕費	5,886,000	22,943,000	△17,057,000
商品仕入費	1,300,000	1,300,000	0
通信運搬費	2,772,000	2,804,000	△32,000
広告料	936,000	1,394,000	△458,000
手数料	2,647,000	2,936,000	△289,000
保険料	1,821,000	1,889,000	△68,000

# 収支予算書（損益ベース）

No. 3

会計区分 全体

事業区分 -

令和06年04月01日 から 令和07年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
自動車損害保険料	501,000	493,000	8,000
その他保険料	1,320,000	1,396,000	△76,000
委託料	50,513,000	55,663,000	△5,150,000
使用料及び賃借料	11,208,000	12,554,500	△1,346,500
会場借上料	1,726,000	1,811,500	△85,500
NHK受信料	100,000	100,000	0
各種リース料	7,413,000	8,518,000	△1,105,000
その他の使用料及び賃借料	1,969,000	2,125,000	△156,000
備品購入費	960,000	3,742,000	△2,782,000
受入備品購入費	960,000	3,742,000	△2,782,000
負担・分担金及び補助金	3,939,000	3,789,000	150,000
補助金	900,000	750,000	150,000
負担・分担金	3,039,000	3,039,000	0
租税公課費	15,223,000	13,541,000	1,682,000
消費税	15,185,000	13,470,000	1,715,000
印紙税	38,000	71,000	△33,000
工事請負費	10,127,000	40,876,000	△30,749,000
雑費	23,000	21,000	2,000
雑費	23,000	21,000	2,000
管理費	14,958,000	15,060,000	△102,000
報酬	5,150,000	4,998,000	152,000
役員報酬	5,150,000	4,998,000	152,000
給料手当	5,054,000	5,609,000	△555,000
給料手当	5,054,000	5,609,000	△555,000
福利厚生費	1,814,000	1,787,000	27,000
法定福利費	1,790,000	1,769,000	21,000
その他福利厚生費	24,000	18,000	6,000
諸謝金	110,000	60,000	50,000
その他謝金	110,000	60,000	50,000
旅費交通費	174,000	203,000	△29,000
役員・職員旅費交通費	130,000	203,000	△73,000
その他旅費交通費	44,000	0	44,000
消耗品費	86,000	141,000	△55,000
会議費	4,000	1,000	3,000
印刷製本費	950,000	0	950,000



# 収支予算書（損益ベース）

No. 4

会計区分 全体

事業区分 -

令和06年04月01日 から 令和07年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
通信運搬費	87,000	76,000	11,000
手数料	404,000	707,000	△303,000
保険料	118,000	189,000	△71,000
自動車損害保険料	46,000	113,000	△67,000
その他保険料	72,000	76,000	△4,000
委託料	506,000	830,000	△324,000
使用料及び賃借料	164,000	135,000	29,000
会場借上料	40,000	50,000	△10,000
各種リース料	76,000	0	76,000
その他の使用料及び賃借料	48,000	85,000	△37,000
負担・分担金及び補助金	334,000	314,000	20,000
負担・分担金	334,000	314,000	20,000
租税公課費	3,000	10,000	△7,000
自動車重量税	0	5,000	△5,000
印紙税	3,000	5,000	△2,000
雑費	0	0	0
雑費	0	0	0
<b>経常費用計</b>	<b>338,570,000</b>	<b>390,941,000</b>	<b>△52,371,000</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△5,662,000</b>	<b>39,102,000</b>	<b>△44,764,000</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△5,662,000	39,102,000	△44,764,000
一般正味財産期首残高	109,797,057	98,239,299	11,557,758
一般正味財産期末残高	104,135,057	137,341,299	△33,206,242
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	201,751,065	201,851,029	△99,964
指定正味財産期末残高	201,751,065	201,851,029	△99,964
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>305,886,122</b>	<b>339,192,328</b>	<b>△33,306,206</b>

## 収支予算書内訳表

会計区分 全体

事業区分 令和06年04月01日 から 令和07年03月31日 まで

科目	公益目的事業会計						収益事業等会計			法人会計		内部取引	合計
	森林文化(地域づくり)の創造	生活創造活動の支援	芸術文化の振興	(公益共通)	生活創造活動施設貸借業務	小計	収益事業	その他事業	小計	協会運営			
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
基本財産運用利益	882,000	268,000	200,000	0	0	1,350,000	0	0	0	0	0	0	1,350,000
基本財産受取利息	882,000	268,000	200,000	0	0	1,350,000	0	0	0	0	0	0	1,350,000
特定資産運用利益	1,000	0	0	0	0	1,000	0	0	0	0	0	0	1,000
森づくり基金受取利息	1,000	0	0	0	0	1,000	0	0	0	0	0	0	1,000
受取会費	158,000	0	0	0	0	158,000	0	0	0	0	0	0	158,000
賛助会員受取会費	158,000	0	0	0	0	158,000	0	0	0	0	0	0	158,000
賛助会員受取会費	158,000	0	0	0	0	158,000	0	0	0	0	0	0	158,000
事業収益	9,529,000	13,438,000	818,000	195,000	0	23,980,000	6,400,000	200,000	6,600,000	0	0	0	30,580,000
指定事業収益	4,907,000	12,388,000	818,000	195,000	0	18,308,000	1,906,000	200,000	2,106,000	0	0	0	20,414,000
参加者負担金収益	2,763,000	3,882,000	520,000	195,000	0	7,165,000	1,906,000	200,000	2,106,000	0	0	0	7,165,000
施設使用料収益	2,144,000	8,506,000	298,000	195,000	0	11,143,000	4,494,000	0	4,494,000	0	0	0	13,249,000
自主事業収益	3,822,000	50,000	0	0	0	3,872,000	12,000	0	12,000	0	0	0	8,366,000
参加者負担金収益	3,321,000	0	0	0	0	3,321,000	0	0	0	0	0	0	3,333,000
商品売上収益	501,000	50,000	0	0	0	551,000	3,012,000	0	3,012,000	0	0	0	3,563,000
手数料収益	0	0	0	0	0	0	1,470,000	0	1,470,000	0	0	0	1,470,000
補助事業活動収益	800,000	1,000,000	0	0	0	1,800,000	0	0	0	0	0	0	1,800,000
受取補助金等	170,643,000	73,123,000	38,994,000	1,465,000	0	284,225,000	272,000	0	272,000	14,135,000	0	0	298,632,000
受取県補助金等	24,280,000	2,021,000	1,442,000	548,000	0	28,291,000	0	0	0	15,000	0	0	28,306,000
受取市補助金等	24,280,000	2,021,000	1,442,000	548,000	0	28,291,000	0	0	0	15,000	0	0	28,306,000
受取市負担・分担金	4,819,000	120,000	0	27,000	0	4,966,000	0	0	0	13,454,000	0	0	18,420,000
受取その他補助金等	4,819,000	120,000	0	27,000	0	4,966,000	0	0	0	13,454,000	0	0	18,420,000
受取その他補助金	490,000	0	30,000	0	0	520,000	0	0	0	0	0	0	520,000
受取その他負担・分担金	490,000	0	30,000	0	0	520,000	0	0	0	0	0	0	520,000
果受託収益	138,154,000	70,982,000	37,522,000	890,000	0	247,548,000	272,000	0	272,000	666,000	0	0	248,486,000
指定管理料収益	137,154,000	70,982,000	37,522,000	890,000	0	246,548,000	272,000	0	272,000	666,000	0	0	247,486,000
その他受託収益	1,000,000	0	0	0	0	1,000,000	0	0	0	0	0	0	1,000,000
市受託収益	150,000	0	0	0	0	150,000	0	0	0	0	0	0	150,000
その他受託収益	150,000	0	0	0	0	150,000	0	0	0	0	0	0	150,000
受取寄附金	2,750,000	0	0	0	0	2,750,000	0	0	0	0	0	0	2,750,000
受取森づくり基金寄附金	1,000	0	380,000	0	0	381,000	0	0	0	0	0	0	381,000
	1,000	0	0	0	0	1,000	0	0	0	0	0	0	1,000

科 目	公益目的事業会計						収益事業等会計				法人会計		合計
	森林文化(地 域づくり)の 創造	生活創造活動 の支援	芸術文化の振 興	(公益共通)	生活創造活動 施設貸館業務	小計	収益事業	その他事業	小計	協会運営	内部取引		
受取その他の寄附金	0	0	380,000	0	0	380,000	0	0	0	0	0	0	380,000
雑収益	2,379,000	977,000	0	0	0	3,356,000	827,000	0	827,000	0	△2,377,000	0	1,806,000
雑収益	179,000	800,000	0	0	0	979,000	827,000	0	827,000	0	0	0	1,806,000
内部取引収益	2,200,000	177,000	0	0	0	2,377,000	-0	0	0	0	△2,377,000	0	0
経常収益計	183,593,000	87,806,000	40,392,000	1,660,000	0	313,451,000	7,499,000	200,000	7,699,000	14,135,000	△2,377,000	0	332,908,000
(2) 経常費用	186,940,000	88,324,000	40,392,000	2,204,000	0	317,860,000	7,499,000	453,000	7,952,000	0	△2,200,000	0	323,612,000
事業費	47,819,000	6,027,000	0	0	0	53,846,000	123,000	0	123,000	0	0	0	53,969,000
報酬	47,819,000	6,027,000	0	0	0	53,846,000	123,000	0	123,000	0	0	0	53,969,000
非常勤嘱託職員報酬	34,295,000	10,697,000	29,880,000	0	0	74,872,000	218,000	0	218,000	0	0	0	75,090,000
給料手当	34,295,000	6,423,000	25,606,000	0	0	66,324,000	218,000	0	218,000	0	0	0	66,542,000
給料手当	0	4,274,000	4,274,000	0	0	8,548,000	0	0	0	0	0	0	8,548,000
給料手当支出(会計年度任用職員)	0	4,274,000	4,274,000	0	0	8,548,000	0	0	0	0	0	0	8,548,000
給料手当支出(会計年度任用職員)	15,260,000	4,795,000	6,128,000	0	0	26,183,000	97,000	0	97,000	0	0	0	26,280,000
福利厚生費	14,781,000	4,740,000	6,064,000	0	0	25,585,000	97,000	0	97,000	0	0	0	25,682,000
法定福利費	479,000	55,000	64,000	0	0	598,000	0	0	0	0	0	0	598,000
その他福利厚生費	8,870,000	0	0	0	0	8,870,000	0	0	0	0	0	0	8,870,000
賃金	4,147,000	1,545,000	632,000	205,000	0	6,529,000	0	0	0	0	0	0	6,529,000
諸謝金	1,427,000	1,390,000	182,000	0	0	2,999,000	0	0	0	0	0	0	2,999,000
講師謝金	2,720,000	155,000	450,000	205,000	0	3,530,000	0	0	0	0	0	0	3,530,000
その他謝金	4,755,000	867,000	374,000	-120,000	0	6,116,000	9,000	80,000	89,000	0	0	0	6,205,000
旅費交通費	3,029,000	424,000	214,000	10,000	0	3,667,000	9,000	80,000	80,000	0	0	0	3,676,000
通勤旅費交通費	536,000	85,000	125,000	0	0	756,000	0	0	0	0	0	0	756,000
役員・職員旅費交通費	469,000	330,000	5,000	0	0	804,000	0	0	0	0	0	0	804,000
講師旅費交通費	721,000	28,000	30,000	110,000	0	889,000	0	0	0	0	0	0	889,000
その他旅費交通費	8,794,000	2,472,000	101,000	69,000	0	11,436,000	1,540,000	119,000	1,659,000	0	0	0	13,095,000
消耗品費	1,006,000	1,279,000	0	0	0	2,285,000	26,000	0	26,000	0	0	0	2,311,000
燃料費	138,000	51,000	68,000	5,000	0	262,000	0	0	0	0	0	0	262,000
会議費	1,501,000	2,010,000	165,000	200,000	0	3,876,000	0	0	0	0	0	0	3,876,000
印刷製本費	8,224,000	11,172,000	0	0	0	19,396,000	374,000	0	374,000	0	0	0	19,770,000
光熱水費	2,413,000	1,184,000	0	0	0	3,597,000	2,289,000	0	2,289,000	0	0	0	5,886,000
修繕費	0	0	0	0	0	0	1,300,000	0	1,300,000	0	0	0	1,300,000
商品仕入費	1,932,000	753,000	48,000	18,000	0	2,751,000	21,000	0	21,000	0	0	0	2,772,000
通信運搬費	468,000	262,000	120,000	36,000	0	886,000	50,000	0	50,000	0	0	0	936,000
広告料	1,538,000	898,000	11,000	10,000	0	2,457,000	186,000	4,000	190,000	0	0	0	2,647,000
手数料	1,061,000	750,000	0	0	0	1,811,000	10,000	0	10,000	0	0	0	1,821,000
保険料	286,000	215,000	0	0	0	501,000	0	0	0	0	0	0	501,000
自動車損害保険料	775,000	535,000	0	0	0	1,310,000	10,000	0	10,000	0	0	0	1,320,000
その他保険料	24,733,000	23,843,000	0	1,480,000	0	50,056,000	457,000	0	457,000	0	0	0	50,513,000
委託料													

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計			法人会計		内部取引	合計
	森林文化(地 域づくり)の 創造	生活創造活動 の支援	芸術文化の振 興	(公益共通)	生活創造活動 施設貸借業務	小計	収益事業	その他事業	小計	協会運営		
使用料及び賃借料	5,548,000	5,032,000	465,000	61,000	0	11,106,000	102,000	0	102,000	0	0	11,208,000
会場借上料	441,000	1,099,000	180,000	6,000	0	1,726,000	0	0	0	0	0	1,726,000
NHK受信料	36,000	64,000	0	0	0	100,000	0	0	0	0	0	100,000
各種リース料	3,653,000	3,675,000	0	10,000	0	7,338,000	75,000	0	75,000	0	0	7,413,000
その他の使用料及び賃借料	1,418,000	194,000	285,000	45,000	0	1,942,000	27,000	0	27,000	0	0	1,969,000
備品購入費	0	940,000	0	0	0	940,000	20,000	0	20,000	0	0	960,000
受入備品購入費	0	940,000	0	0	0	940,000	20,000	0	20,000	0	0	960,000
負担・分担金及び補助金	1,199,000	90,000	2,400,000	0	0	3,689,000	0	250,000	250,000	0	0	3,939,000
補助金	210,000	40,000	400,000	0	0	650,000	0	250,000	250,000	0	0	900,000
負担・分担金	989,000	50,000	2,000,000	0	0	3,039,000	0	0	0	0	0	3,039,000
租税公課費	6,912,000	7,655,000	0	0	0	14,567,000	656,000	0	656,000	0	0	15,223,000
消費税	6,885,000	7,644,000	0	0	0	14,529,000	656,000	0	656,000	0	0	15,185,000
印紙税	27,000	11,000	0	0	0	38,000	0	0	0	0	0	38,000
工事請負費	4,425,000	5,702,000	0	0	0	10,127,000	0	0	0	0	0	10,127,000
雑費	1,902,000	300,000	0	0	0	2,202,000	21,000	0	21,000	0	0	2,223,000
雑費	2,000	0	0	0	0	2,000	21,000	0	21,000	0	0	23,000
内部取引費用	1,900,000	300,000	0	0	0	2,200,000	0	0	0	0	△2,200,000	0
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,135,000	0	15,135,000
報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,150,000	0	5,150,000
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,150,000	0	5,150,000
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,054,000	0	5,054,000
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,054,000	0	5,054,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,814,000	0	1,814,000
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,790,000	0	1,790,000
その他福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24,000	0	24,000
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110,000	0	110,000
その他謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110,000	0	110,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	174,000	0	174,000
役員・職員旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	130,000	0	130,000
役員・職員旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44,000	0	44,000
その他旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	86,000	0	86,000
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,000	0	4,000
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	950,000	0	950,000
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87,000	0	87,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	404,000	0	404,000
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	118,000	0	118,000
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,000	0	46,000
自動車損害保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72,000	0	72,000
その他保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	506,000	0	506,000

科 目	公益目的事業会計						収益事業等会計			法人会計		内部取引	合計
	森林文化(地 域づくり)の 創造	生活創造活動 の支援	芸術文化の振 興	(公益共通)	生活創造活動 施設貸館業務	小計	収益事業	その他事業	小計	協会運営			
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	164,000	0	164,000	
会場借上料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40,000	0	40,000	
各種リース料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76,000	0	76,000	
その他の使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48,000	0	48,000	
負担・分担金及び補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	334,000	0	334,000	
負担・分担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	334,000	0	334,000	
租税公課費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000	0	3,000	
印紙税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000	0	3,000	
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	177,000	△177,000	0	
内部取引費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	177,000	△177,000	0	
経常費用計	186,940,000	88,324,000	40,392,000	2,204,000	0	317,860,000	7,499,000	453,000	7,952,000	15,135,000	△2,377,000	338,570,000	
当期経常増減額	△3,347,000	△518,000	0	△544,000	0	△4,409,000	0	△253,000	△253,000	△1,000,000	0	△5,662,000	
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△3,347,000	△518,000	0	△544,000	0	△4,409,000	0	△253,000	△253,000	△1,000,000	0	△5,662,000	
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	-	97,639,614	-	-	10,386,428	1,771,015	0	109,797,057	
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	-	93,230,614	-	-	10,133,428	771,015	0	104,135,057	
指定正味財産増減の部													
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	201,851,065	-	-	△100,000	0	0	201,751,065	
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	201,851,065	-	-	△100,000	0	0	201,751,065	
正味財産期末残高	-	-	-	-	-	295,081,679	-	-	10,033,428	771,015	0	305,886,122	

# 収支予算書（資金ベース）

No. 1

会計区分 全体

事業区分 -

令和06年04月01日 から 令和07年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	1,350,000	1,350,000	0	
② 特定資産運用収入				
森づくり基金利息収入	1,000	1,000	0	
③ 会費収入				
賛助会員会費収入				
賛助会員会費収入	158,000	150,000	8,000	
④ 事業収入				
指定事業収入				
参加者負担金収入	7,165,000	7,209,000	△44,000	
施設使用料収入	13,249,000	12,552,000	697,000	
自主事業収入				
参加者負担金収入	3,333,000	3,246,000	87,000	
商品売上収入	3,563,000	3,302,000	261,000	
手数料収入	1,470,000	1,528,000	△58,000	
補助事業活動収入	1,800,000	1,800,000	0	
⑤ 補助金等収入				
県補助金等収入				
県補助金収入	28,306,000	33,173,000	△4,867,000	
県負担・分担金収入	0	122,000	△122,000	
市補助金等収入				
市負担・分担金収入	18,420,000	18,420,000	0	
その他補助金等収入				
その他補助金収入	490,000	873,000	△383,000	
その他負担・分担金収入	30,000	80,000	△50,000	
県受託収入				
指定管理料収入	247,486,000	277,382,000	△29,896,000	
その他受託収入	1,000,000	61,918,000	△60,918,000	
市受託収入				
その他受託収入	150,000	173,000	△23,000	
その他受託収入	2,750,000	3,750,000	△1,000,000	
⑥ 寄附金収入				
森づくり基金寄附金収入	1,000	16,000	△15,000	

# 収支予算書 (資金ベース)

No. 2

会計区分 全体

事業区分 -

令和06年04月01日 から 令和07年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
その他の寄附金収入	380,000	380,000	0	
⑦ 雑収入				
雑収入	1,806,000	2,618,000	△812,000	
事業活動収入計	332,908,000	430,043,000	△97,135,000	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
報酬支出				
非常勤嘱託職員報酬	53,969,000	51,490,000	2,479,000	
給料手当支出				
給料手当支出	66,542,000	67,008,000	△466,000	
給料手当支出 (会計年度任用職員)				
給料手当支出 (会計年度任用職員)	8,548,000	8,346,000	202,000	
福利厚生費支出				
法定福利費支出	25,682,000	24,922,000	760,000	
その他福利厚生費支出	598,000	563,000	35,000	
賃金支出	8,870,000	6,778,000	2,092,000	
諸謝金支出				
講師謝金支出	2,999,000	2,415,000	584,000	
その他謝金支出	3,530,000	4,678,000	△1,148,000	
旅費交通費支出				
通勤旅費交通費支出	3,676,000	3,293,000	383,000	
役員・職員旅費交通費支出	836,000	571,000	265,000	
講師旅費交通費支出	804,000	510,000	294,000	
その他旅費交通費支出	889,000	1,128,000	△239,000	
消耗品費支出	13,095,000	16,061,000	△2,966,000	
燃料費支出	2,311,000	2,506,000	△195,000	
会議費支出	262,000	392,000	△130,000	
印刷製本費支出	3,876,000	2,354,000	1,522,000	
光熱水費支出	19,770,000	20,164,000	△394,000	
修繕費支出	5,886,000	22,557,000	△16,671,000	
商品仕入費支出	1,300,000	1,300,000	0	
通信運搬費支出	2,772,000	2,915,000	△143,000	
広告料支出	936,000	1,272,000	△336,000	
手数料支出	2,647,000	3,374,000	△727,000	
保険料支出				

# 収支予算書 (資金ベース)

No. 3

会計区分 全体

事業区分 -

令和06年04月01日 から 令和07年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
自動車損害保険料支出	501,000	498,000	3,000	
その他保険料支出	1,320,000	1,352,000	△32,000	
委託料支出	50,513,000	55,521,000	△5,008,000	
使用料及び賃借料支出				
会場借上料支出	1,726,000	1,818,000	△92,000	
NHK受信料支出	100,000	100,000	0	
各種リース料支出	7,413,000	8,353,000	△940,000	
その他の使用料及び賃借料支出	1,969,000	2,362,000	△393,000	
備品購入費支出				
受入備品購入費支出	960,000	2,987,000	△2,027,000	
負担・分担金及び補助金支出				
補助金支出	900,000	750,000	150,000	
負担・分担金支出	3,039,000	3,139,000	△100,000	
租税公課費支出				
消費税支出	15,185,000	13,470,000	1,715,000	
印紙税支出	38,000	71,000	△33,000	
工事請負費支出	10,127,000	40,841,000	△30,714,000	
雑支出				
雑支出	23,000	22,000	1,000	
② 管理費支出				
報酬支出				
役員報酬支出	5,150,000	4,998,000	152,000	
給料手当支出				
給料手当支出	5,054,000	5,609,000	△555,000	
福利厚生費支出				
法定福利費支出	1,790,000	1,769,000	21,000	
その他福利厚生費支出	24,000	18,000	6,000	
諸謝金支出				
その他謝金支出	110,000	60,000	50,000	
旅費交通費支出				
役員・職員旅費交通費支出	130,000	203,000	△73,000	
その他旅費交通費支出	44,000	0	44,000	
消耗品費支出	86,000	141,000	△55,000	
会議費支出	4,000	1,000	3,000	
印刷製本費支出	950,000	0	950,000	



# 収支予算書（資金ベース）

No. 4

会計区分 全体

事業区分 -

令和06年04月01日 から 令和07年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
通信運搬費支出	87,000	86,000	1,000	
手数料支出	404,000	697,000	△293,000	
保険料支出				
自動車損害保険料支出	46,000	113,000	△67,000	
その他保険料支出	72,000	76,000	△4,000	
委託料支出	506,000	830,000	△324,000	
使用料及び賃借料支出				
会場借上料支出	40,000	50,000	△10,000	
各種リース料支出	76,000	0	76,000	
その他の使用料及び賃借料支出	48,000	85,000	△37,000	
負担・分担金及び補助金支出				
負担・分担金支出	334,000	314,000	20,000	
租税公課費支出				
自動車重量税支出	0	5,000	△5,000	
印紙税支出	3,000	5,000	△2,000	
雑支出				
雑支出	0	0	0	
事業活動支出計	338,570,000	441,859,000	△103,289,000	
事業活動収支差額	△5,662,000	△11,816,000	6,154,000	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 基金取崩収入				
期間基金取崩収入	250,000	100,000	150,000	
一般募金取崩収入	1,200,000	0	1,200,000	
投資活動収入計	1,450,000	100,000	1,350,000	
2 投資活動支出				
① 基金取得支出				
期間基金積立金支出	1,000	1,000	0	
一般募金積立金支出	2,000	20,000	△18,000	
投資活動支出計	3,000	21,000	△18,000	
投資活動収支差額	1,447,000	79,000	1,368,000	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				

# 収支予算書 (資金ベース)

No. 5

会計区分 全体

事業区分 -

令和06年04月01日 から 令和07年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	△4,215,000	△11,737,000	7,522,000	
前期繰越収支差額	16,261,133	27,998,133	△11,737,000	
次期繰越収支差額	12,046,133	16,261,133	△4,215,000	